



学校（ビオトープ）の支援を進め、 ふるさとを愛する子どもたちに

—ビオトープの維持や体験学習の支援を通して—

豊田市立五ヶ丘東小学校 PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、創立34周年の比較的新しく、児童数は104名の小規模な学校である。1980年代に、この地域は高さ100m程の山がいくつも連なり、谷間の田んぼや畑、草原、小川などには、多様な生き物が生息する自然豊かなところだった。しかし、人口増加に伴う住宅造成の必要に伴い、自然を大切にするコンセプトをもとにして、五ヶ丘の町が造られた。

本校では、自然の大切さや生き物の命の尊さについて考え、自然と人が共生できる子どもの育成を目指している。また、学校ビオトープがあり、教育活動を通して、体験活動が行われている。

自分の故郷を愛する子に育ててほしいと願っている。



2 学校教育目標

校訓 「創造」

教育スローガン

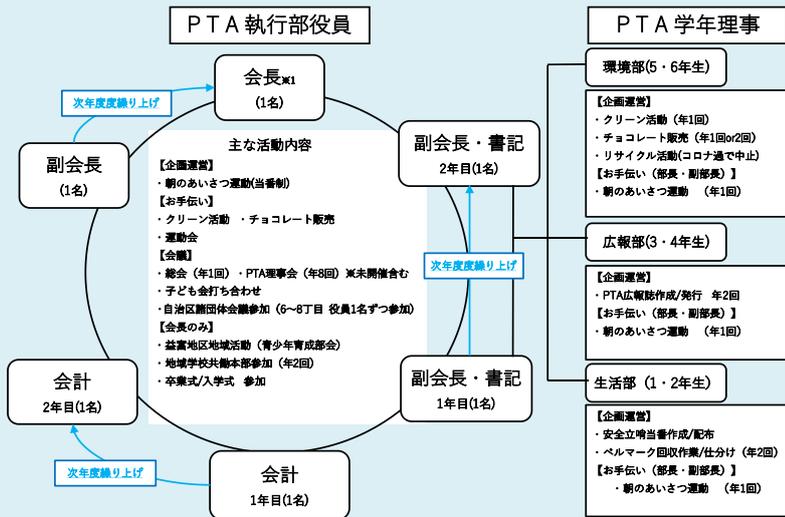
「一生懸命がかっこいい」



自然豊かな住宅
地内に、学校が
あります。



3 PTA 組織について



R4まで役員・学年理事を選出し、役員でPTAの企画・運営を行ってきたが、活動を見直し、保護者の負担を軽減するよう、改正を進めている。

4 PTAの学校支援活動内容

(1) クリーン活動 (草取り)

秋に行われる運動会のための整備として、運動場の草取りを行っている。本校は小規模校のため保護者数も少ない。そこで自治区に呼び掛けてボランティアの方に協力いただいている。また、地域の「五ヶ丘東お助け隊」と呼ばれるボランティア団体、地域学校共働本部にも協力を依頼している。

本校は小規模校であるため、PTA 会員数も少ない。実際のクリーン活動は1日開催であるが、

ボランティアの方が、夏休みから少しずつ除草作業を行ってくださることで、運動場の環境整備が円滑に行われている。



(2) 標本づくり

本校は、ビオトープを維持管理するために、教職員だけでなく専門的な知識をもつ地元環境 NPO の指導・助言をいただいている。また、整備に関しては、PTA が協力しながら維持している。今年度はビオトープネットワークの方を地域講師として招き、PTA が支援しながら標本づくりを行うことにした。今回の標本づくりの支援を通して、本校の特色であるビオトープ活動について知るきっかけとなった。



5 成果と今後の課題

ここ数年のコロナ渦の影響で、さまざまな PTA 活動が見直されたり、削減された。PTA の負担は減ったが、PTA 主体となって取り組む活動がなくなり、子どもたちが喜ぶ様子が見られなくなったため、やりがいを感じづらくなったと感じている。PTA として、気軽に子どもたちと活動し、みんなで子どもたちを育てる実感を感じられるようにしたい。とはいえ、小規模校であることや、共働き家庭も多いため、気軽に参加できるように改善したい。その一つとして、地域学校共働本部や自治区とも連携し、子どもたちを支援していきたい。

